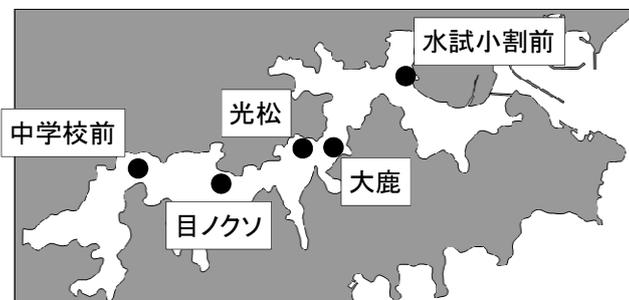


プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年3月12日午前11時半から浦ノ内湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。  
 検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイ、シュートシャットネラ・ベルクローサ、ヘテロシグマ・アカシオ、ディクチオカ属及びゴニオラックス・ポリグラマが確認されました。今後の動向に注意が必要です。  
 海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

	水深	カレニア・ミキモトイ	シュートシャットネラ・ベルクローサ	ヘテロシグマ・アカシオ	ディクチオカ属	ゴニオラックス・ポリグラマ
中学校前	0m	0	6	0	2	0
	2m	0	1	0	2	0
	5m	0	2	0	0	1
目ノクソ	0m	0	2	0	0	0
	2m	2	0	0	1	0
	5m	1	1	0	3	1
光松	0m	0	3	1	5	1
	2m	0	1	1	2	0
	5m	1	0	0	2	0
大鹿	0m	0	1	0	2	0
	2m	0	2	0	2	0
	5m	0	0	1	0	1
水試小割	0m	0	38	5	0	0
	2m	0	4	1	3	0
	5m	0	2	0	1	0



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモトイ(魚類等のへい死): 数百~数千cells/ml
- ・シュートシャットネラ・ベルクローサ(魚類のへい死): 500~1,000cells/ml
- ・ヘテロシグマ・アカシオ(魚類のへい死): 10,000~50,000cells/ml
- ・ディクチオカ属(魚類のへい死): 5,000cells/ml
- ・ゴニオラックス・ポリグラマ(魚類等のへい死): 赤潮発生時